

クジャクシダ *Adiantum pedatum* L.

イノモトソウ科 Pteridaceae

1.利用可能部位

葉柄

2. 組織形態：

葉柄断面は葉の上面がやや潰れた円～楕円形。表皮は平滑で、壁の厚い表皮細胞が密に並ぶ。下表皮は径が小さく細胞壁の厚い柔組織で、内層に向かい順次径が大きくなり、壁が薄くなる。維管束は上面が開いたU字形で1本。両端の木部は内側に巻き込む。

3. 利用例：知られていない

4. 遺跡出土遺物：知られていない

図説明

A:クジャクシダの葉。細長い羽片が左右対称に扇状に拡がり、孔雀が尾羽を上げたような形になる。B:葉柄の断面。上面がややへこんだ楕円形で、ほぼ均質な厚さの表皮-下表皮層が全周を覆い、中央に上部が開いたU字形の維管束が1本ある。C:葉柄の断面の拡大（一部）。表皮-下表皮は5～8細胞層程度。矢印部分に通気孔条に相当する細胞間隙の発達した部分があるがほとんど目立たない。

